

平成29年度 第2回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

日 時 平成30年3月22日（木） 午前10時～11時45分

会 場 白根健康福祉センター 3F 多目的ホール

午前 10 時	
事務局 (石倉健康福祉課課長補佐)	<p>これより本年度第 2 回目の南区地域福祉アクションプラン推進委員会を始めさせていただきます。</p> <p>進行を務めます、南区健康福祉課の石倉と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>早速ですが、本日配付資料の確認をお願いしたいと思います。資料の 1 と 2、1-1 と 1-2 がありますけれども、これは事前に送付させていただいております。本日配付した資料、資料 3 と資料 4 が配布してございます。それとは別に水色の南区おでかけ福祉マップ、それから南区在宅療養安心ガイドブックという薄い冊子ですけれども 2 つ配布させていただいております。不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、本日事前に欠席の連絡をいただいております、白根地区の小柳委員、根岸地区の半戸委員、連合保健会の相田委員、ボランティア団体の柳委員から事前欠席をいただいておりますが、もう一人まだ、大郷地区遠藤委員がまだお見えになっていませんけど、そのうち来られると思います。</p> <p>本日、会議内容の議事録を作成するため、録音させていただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは最初に、南区の中村健康福祉課長よりごあいさつ申し上げます。</p>
事務局 (中村健康福祉課長)	<p>皆さん、おはようございます。健康福祉課長の中村でございます。本日はお忙しい中、また雨で足下の悪い中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>現在新潟市では、健康寿命の延伸ということで、一昨年以前から集団検診などを一部取り入れたり、そういった活動を図って参りました。また、地域包括ケアということで、いろいろな取り組みをこれから地域で熟成させていかなければなりません。</p> <p>本日は、各地域で活動していただいております地区別計画の報告や、また平成 30 年度の取り組みなどについてご紹介させていただいて、それについてご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>また、先週の土曜日に東区の方で健康寿命延伸アワードという会がございまして、各企業ですとかコミュニティ協議会等向けの応募と、一般向けということで、企業や地域で活動している団体などの良い取り組みを表彰するというのがございました。そこで一般の部ということで、この度、大別当の茶の間ということで、今日お見えになっております登石さんが表彰を受けてまいりました。そういった市の中で選</p>

	<p>ばれるような良い取り組みも行われておりますので、そういったものを参考にしていただいて、地域での福祉の輪はなかなか実際に活動しようと思うと負担もあるとは思いますが、なるべく負担にならないような形で、少しずつ地域の中で福祉の活動とかそういったものが広がっていくように、ご祈念申し上げたいと思います。</p> <p>それと、私事ではございますが、私この4月1日から西川出張所というところで、私の地元なのですけれども、異動することになりました。本当に2年間ありがとうございました。また皆様方におかれましても、一応この年度末におきまして一旦任期が終了するという事になってございます。本当にこの間ありがとうございました。また引き続き委員をしていただける方につきましては、今後もよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>本日はよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (石倉健康福祉課課長補佐)	<p>続きまして、南区社会福祉協議会の小林事務局長よりごあいさつ申し上げます。</p>
事務局 (小林南区社会福祉協議会事務局長)	<p>皆さんおはようございます。南区社会福祉協議会事務局長の小林でございます。本日はご多用のところお集まりいただきまして大変ありがとうございます。</p> <p>早いもので、この南区地域福祉アクションプランも6年の計画の半分を経過しようとしているところでございます。あっという間に過ぎたような感じがしますが、それぞれの期間・地域で様々な活動が実践されてきたところでございます。今ほどは課長のお話の中にもございましたが、委員の任期が今年度末に一旦切れまして、また新しい委員、また継続されて就任される委員もおられるかと思いますが、残りの3年間今までの取り組みを整理、検証して今後の活動につなげていくことが大切であると考えています。</p> <p>このアクションプランを推進・実践することが、言われています地域包括ケアシステム、生活支援体制の強化、支え合いのしくみづくりにつながっていくものと考えておりますので、皆様何とぞよろしくお願いをいたします。</p> <p>本日はよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (石倉健康福祉課課長補佐)	<p>それでは、次第の3、議事に入ります。</p> <p>これより議事の進行を金子委員長の方からお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
金子委員長	<p>皆様おはようございます。委員長の金子でございます。本任期の最</p>

	<p>後の会議ということになろうかと思えます。3年間いろいろ皆様方にご協力いただきまして進めてまいりましたが、大変ありがとうございます。</p> <p>それではこれから会議を始めますが、速やかな議事進行となるように皆様方の格段のご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議事(1)でございます。平成29年度にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金活動報告でございます。</p> <p>事務局お願いします。</p>
事務局 (星野地域福祉係長)	<p>南区健康福祉課地域福祉係の星野と申します。</p> <p>今年度「にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金」を活用して地域福祉活動を行っている1つの団体から活動状況を報告させていただきます。</p> <p>資料1が団体から提出された活動の概要をまとめたものになっておりますので、参考として下さい。</p> <p>それでは、説明の時間は5分以内でお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
金子委員長	<p>それでは「まちづくり学校」は説明のほうよろしくお願ひしたいと思えます。なお、質問については説明終了後にお願ひいたします。</p>
まちづくり学校	<p>本日はお忙しいところお時間いただきましてありがとうございます。私、NPO法人まちづくり学校の木村と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>早速ではございますが、地域ふれあい発信発見まち探検新聞づくりの報告をさせていただきたいと思えます。お手元の資料をご参考にいただければと存じます。</p> <p>まち探検新聞づくりは、小学生、または小学生の親子を対象に、ガイドを受けながら町の魅力を発見するまち探検と、見つけた魅力を多くの人に伝える新聞づくりを8月4日に行いました。参加者は親子合わせて18名、その中で南区内の参加者は9名の参加がありました。昨年よりも南区内の参加者が増えたことはとても喜ばしく感じております。会場は金長をお借りし、新しいメンバーが加わった白根大風タウンガイドとともに、ルートや子ども向けの見所、訪問先の協力の打診など、いかに子どもたちの興味をひきつけられる体験や話題を提供してもらうかを追及し、企画作りからご協力いただきました。</p> <p>まち探検ではルート上の見せたい場所など、あらかじめ隠しておいたカードを発見してもらったり、クイズ形式のミッションや見所を絵</p>

で表したビンゴゲームを用意し、子どもたちが自発的に観察し、町の魅力に気付けるようゲーム性を取り入れる工夫を行いました。また子どもたちに馴染みのない昔の生活や、普段見る機会のない店の裏側など、人々の営みを通じて町が成り立っていることに気付くようにいたしました。

新聞づくりにおいては、町の良さを人に伝える表現力を伸ばせるように、気付いたことや感じたことをまとめました。子どもたちの自主性を大事にし、必要な場所ではスタッフが補助を行い、最後には一人一人講師よりアドバイスをいただきました。

開催後は、当日の様子をまとめたレポートを参加者や協力いただいた方々へ配布いたしました。この活動を通して今回感じた課題とは昨年より南区内の参加者を増やすことができましたが、全体を占める割合はまだ低いです。日程や広報の方法など再度検討し、南区内の参加者を増やすことに務めてまいりたいと思います。

今回のまち探検新聞づくりは、悪天候と先方の都合で急きょ当日に訪問できなくなり、ルートを短縮することがありました。事前の準備とガイドの段取りの良さで大きな問題無く実施することができましたが、今後もこのような状況を想定し、念入りに事前準備が必要だと思っております。

白根大風タウンガイドが小学校の体験学習や行事など、地域の場所で活躍できる場を増やせるよう、今後の活動のPRに利用してもらうなど、ガイドの会の運営と併せて支援していくことが課題と思っております。

また、活動を通じて思ったことは、普段は車で通り過ぎてしまう町の中を、クイズ形式のミッションなどさまざまな仕掛けを用意し、自ら質問することや、地域のボランティアガイドのガイドを聞き、商店街の方のお話を直接聞くことで、自分の住む町にどんなお店があり、どんな人たちが住んでいるか理解することができました。そして町の魅力に気付くことができ、町への愛着が生まれ、担い手育成へつなげるきっかけができました。区内外から参加をいただき、子育て世代同士が交流することで、地域を越えた仲間作りができました。

参加者からは、いろいろなものを見たり、知らなかったことがたくさんあって面白かった。奥深い白根の魅力を再発見できたなどの感想を多くいただきました。親子で一緒に地域に関わる楽しさに気付いたことで、町への興味関心を持つことへつなげられたと感じています。そして今回事前取材を行い、協力して下さるお店やお寺の方に、昔使

	<p>用していた漆器が残っていたり、戦時中のお手紙が残っていたりと、当日も準備をしていただき、子どもたちへ直接見ていただくことができました。こういったものを実際見ていただくことで、昔の生活や様子がより分かりやすく伝わり、町の不思議だったことが紐解かれていきます。地元の方もこのような活動に参加することで、自分達の町の歩みを見直し、町への誇りを再認識することへとつながりました。こうした活動が町を元気にすることへつながり、自分達の日々の楽しみにもつなげられると良いのではないかと感じております。このまち探検新聞づくりが、その活動の一步につながれば良いと感じており、これからも活動を続けていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございます。 それでは今のまちづくり学校さんの説明について、あるいはお聞きしたいことがあればお受けいたしますが、いかがでございましょうか。 これは2年目でしたかね。</p>
まちづくり学校	<p>そうですね。こちらの助成金を使わせていただいて2年目になります。</p>
金子委員長	<p>何かございませんでしょうか。 どうぞ。</p>
藤委員	<p>南区からは、味方小学校と小林小学校のみで、白根小学校からはゼロですか。</p>
まちづくり学校	<p>はい、今回はちょっと白根小学校からの参加者が居なかったのですけれども、味方小学校と小林小学校のほうから合わせて3組の親子の参加がありました。</p>
藤委員	<p>たとえば、こういうものがありますということで、学校や関係機関には周知をしたのでしょうか。</p>
まちづくり学校	<p>各南区内の小学校のほうにはチラシを送らせていただき、健康福祉課にもご協力いただき、各所チラシを何部か置かせていただきました。白根小学校のほうは児童一人一人にお配りすることが難しいということで、広報の棚があるそうなので、そこに置いて見て必要だと思った子が持っていく、という形を取ることはできないと言われてしまい、皆さんにお知らせするということが難しかったのでそのようにいたしました。</p>
藤委員	<p>内容を聞いた限りでは、とても子どもたちが喜びそうな、参加したらこれは良かったなと感じるような内容だったので、子どもたちって自由に持って行ってくださいと、なかなか大人のほうが声をかけない</p>

	と全員に行き渡るといことは難しいのかなと思いますので、可能でしたらですけども、置くだけでは無理だったということだったのですけれども、全員配布というか、家庭への配布をできれば白根小学校からも参加していただけたのかなというふうには思ったのですけれども。
まちづくり学校	意見ありがとうございます。
金子委員長	ほかにありますでしょうか。 無いようでしたらこれで報告終わりにしてよろしいでしょうか。 ありがとうございます。
まちづくり学校	ありがとうございました。
金子委員長	それでは続きまして議事（２）に移ります。 「平成 30 年度南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取り組みについて」ということでございます。皆さんご案内のように、今のアクションプランでございますけれども、6 年の計画ということで作られたわけでございますが、ちょうど 29 年度で 3 年間、中間まで来たということでございます。それで 30 年度は折り返しの年ということでございますが、その 30 年度の分野別計画の取り組みについて事務局の方から説明をお願いしたいと思います。 なお、質疑については、4 つの分科会すべての説明が終わったあとでお願いしたいと思います。それでは「児童・子育て支援」分科会に説明をお願いしたいと思います。
事務局 （長谷川児童福祉係長）	それでは、児童・子育て支援係の報告をいたします。私は児童福祉係の長谷川と申します。よろしくお願いいたします。 それでは資料 2、こちらの大きな資料の 1 枚目をご覧いただきたいと思っております。小項目の子育て世代が孤立しない町づくりについてですが、平成 29 年度では、課題に対して多様な手法による子育て情報の発信、子育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくり、訪問・相談事業の強化について計画した内容を実施したことによる子育て世代が孤立しないような仲間作りにつながっており、一定の成果が見込まれています。 小項目全体では、実施内容や年度目標数値などを大幅に修正する必要が無いことから、平成 30 年度も平成 29 年度と同じ内容で実施していく予定ですが、さらに子育て世代同士がつながりを深めていけるように、公民館主催の子育て講座の参加者も含めて、つながりを深めていけるように支援を行う予定です。 2 ページをご覧ください。小項目の地域で支えるゆとりを持った子

	<p>育てができるまちづくりについてです。平成 29 年度では計画した内容を実施したことにより、地域住民全体で子どもを育む意識の向上、子育て中の親子の居場所の確保、子育て支援リーダーや、ボランティアの育成と活動の支援につながる成果が見込まれています。</p> <p>小項目全体では、実施内容や年度目標数値などを大幅に修正する必要がないことから、平成 30 年度も同様に実施していく予定です。</p> <p>次に 3 ページをご覧ください。小項目の子育て支援施設・事業の充実についてです。平成 29 年度では、計画した内容を実施し、子どもに関する悩みについてのアドバイスや、子どもが安心して遊べる環境の整備、子育て支援施設や事業の内容の周知に努めたことで、一定の成果が見られております。</p> <p>小項目全体では、実施内容や今年度目標数値などを修正する必要がないことから、平成 30 年度も同様に実施する予定です。</p> <p>以上で児童・子育て支援の分科会について説明を終わらせていただきます。</p>
金子委員長	<p>それでは続きまして「障がい福祉」分科会、お願いしたいと思います。</p>
事務局 (呉井障がい福祉係長)	<p>「障がい福祉」分科会担当の障がい福祉係の呉井と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>平成 30 年度の障がい福祉分科会の実施内容について説明いたします。</p> <p>4 ページをご覧ください。小項目、福祉サービス利用の相談体制充実です。平成 29 年度では、機関相談支援センター秋葉の周知を図るため、区だより、社会福祉協議会だよりに掲載し、また幼稚園・保育園、小・中学校の職員を対象に相談支援に関する研修会を開催しました。現場の方たちが、どこに相談したらいいのかなどの相談窓口やサービスの周知を図りました。</p> <p>小項目全体では、実施内容や年度目標数値など修正する必要がないことから、平成 30 年度も平成 29 年度と同じ内容に実施していく予定です。</p> <p>5 ページをご覧ください。小項目、障がいのある人と地域が交流できるまちについてです。平成 29 年度では、地域の人たちへ障がいに対する理解と地域の受け皿づくりのため、地域の行事に積極的に参加できるように呼びかけをお願いしてきました。平成 30 年度は平成 29 年度の内容に心の健康づくり講座を加えました。こちらは今までも実施していた事業ですが、現在は市全体の中の 8 区のうち南区だけで取り組</p>

	<p>んでいる事業であり、ここに新たに付け加えました。内容としましては、精神保健福祉、ボランティア活動に興味・関心のある方、民生委員や保護司等を対象に、精神障がい者と市民が協力し合い、共に生きる町づくりを推進することを目指し、精神障がいについての知識の普及・啓発を目的とし、講座を開催する予定です。</p> <p>次に6ページ、小項目自立支援体制の充実についてです。</p> <p>平成29年度では、記載のとおり、計画した内容で実施することにより、地域の課題の解決に向けて話し合える環境の整備の充実という課題に向け、生活課題の早期支援に関係機関と情報共有を進めてまいりました。平成30年度は障がい児関係者合同研修会開催を加えました。こちらは今年度、自立支援協議会で障がい児ワーキンググループを立ち上げ、来年同以降もこの研修会を続ける予定です。</p> <p>以上、障がい福祉分科会の報告を終わります。</p>
金子委員長	<p>それでは、次でございますが「高齢者福祉・介護支援」分科会お願いいたします。</p>
事務局 (長谷川高齢介護係長)	<p>皆さんこんにちは。健康福祉課高齢介護係の長谷川と申します。いつもお世話になっております。私のほうからは高齢者福祉介護者支援についてご説明いたします。</p> <p>資料2の7ページご覧ください。目標である大項目の高齢者が安心して暮らせるまちについて、7ページから9ページまで3つの小項目に分けてまとめてあります。おおむね今年度を継承した計画となっておりますが、目標の変更をした項目もございます。</p> <p>まず小項目、高齢者・介護者を支えあうまちづくりをご覧ください。平成29年度はゆるやかな見守りを行う取り組み支援として、地域からの要望により見守り活動実施検討支援や、地域の集いの支援などを行ったほか、自治会や民生委員、介護専門職を対象に、個人情報取り扱いについての研修会等を実施しました。平成30年度も地域からの要望に沿った支援を行っていきたいと考えています。</p> <p>また、地域包括支援センターや介護教室の周知については、行事のたびに行っておりますが、より多くの方々から参加していただけるよう、来年度も引き続き周知を続けてまいります。さらにケア会議などを活用し、顔の見える関係、ネットワークづくりも継承して実施する予定としております。</p> <p>続いて8ページ、小項目、高齢者の健康づくり・介護予防の推進です。平成28年度からミニドック型集団検診と「はかろう体重！大作戦」を新たに実施したほか、ほかの取り組みも計画どおり実施し、区民の</p>

	<p>健康づくりの関心を高めました。来年度も引き続き実施していきますが、取り組み番号①地区での健康づくり講座のフォロー講座、ウォーキング講座については、運動をしようとする人しか集まってまいりませんので、より多くの方々から関心を持っていただくために、平成29年度から食育講座も合わせて実施し、うまくウォーキング講座へつなげることができましたので、平成30年度も同様に食育と併せて実施していきます。</p> <p>最後になります。9ページ、小項目認知症の予防と対策です。平成29年度は認知症予防の教室を1教室20回実施し、14の方が参加しました。この予防教室は、参加者には一定の効果が見られますが、半年間にわたり週に一回通所での講座のため、参加しづらいことから、平成30年度では、広く認知症予防についての啓発をしていくために、新たに認知症予防出前講座に切り替え、地域で運動ボランティアとして活躍している、運動普及推進委員にご協力いただき、地域の茶の間に出向いてまいります。目標は初年度のため年2回としました。</p> <p>認知症サポーター養成講座につきましては、今年度の申請件数21件の受理をしているほか、南区職員向けの講座も開催いたしました。今後も増加する認知症対策として、引き続き有効な広報活動を考えていきます。また平成27年度に立ち上げた、認知症サポーターを養成するキャラバンメイトの方々の連絡会は、情報共有と活躍方法の検討を行うため、こちらも引き続き実施していく予定です。認知症カフェにつきましては、昨年度より回数を増やし、年6回から5月より毎月第4土曜日に開催しておりますので、目標数値のほうを平成29年度の6回から、12回に変更しました。今後も定期的な開催と安定運営を目指し、続けて行く予定としております。</p> <p>以上、高齢者福祉介護者支援の取り組みについての説明を終わります。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>それでは、最後でございますが、「地域づくり」分科会お願いしたいと思います</p>
事務局 (田村南区社会福祉協議会南区ボランティア市民活動センター)	<p>地域づくり分科会のご説明をさせていただきます。南区社会福祉協議会南区ボランティア市民活動センターの田村と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>地域づくり分科会は、資料の10ページから説明させていただきます。小項目、地域のボランティア活動の場、発信と活動支援です。白根健康福祉センターボランティアルームの活用につきましては、未利用の団体に情報提供を随時行っていきます。また現在使用しているボ</p>

ランティア団体からは、情報収集を随時行っていきたいと思っております。ボランティア団体の交流・研修会、講座につきましては、平成29年度では計画した内容を実施したことにより、ボランティア育成、ボランティアへの情報交換等が行われました。また子どもだけではなく、大人への福祉教育を行うことで、福祉教育への理解が深まったと考えておりますので、引き続き平成30年度も取り組んでいきます。

災害ボランティアの育成に関しましても、地域の方との災害ボランティアセンター設置訓練を行ったことで、周知と理解につながったと考えられます。災害ボランティアセンター設置訓練では、検討委員会を平成29年度からは2か月に1回の開催といたしました。平成30年度も引き続き南区におけるサテライト候補地や、災害ボランティアセンターの設置の際に必要な事項や、災害のネットワークづくりを検討していきたいと思います。また年1回の設置訓練では、災害ボランティアセンターに対する実践的なスキルアップを行い、災害ボランティアセンターの意義を周知していきます。

小項目全体では、実施内容や年度目標数値を修正することがないことから、平成30年度は平成29年度と同じ内容で実施をしていきたいと思っております。

続きまして、11ページの小項目、地域のお茶の間・ふれあいいいきサロン活動の支援を説明させていただきます。平成29年度では計画した内容を実施したことにより、サロン間の交流が行われました。これにより、サロンの問題解決などの成果が見込まれました。平成30年度も交流会や研修会を開催し、特に男性の参加が乏しいことから男性の対象とした交流会も計画していきます。

次に広報に関しましても、社協だよりにサロンマップを掲載するという目標がありましたが、紙面の都合上、マップを載せることが難しくなりましたので、成果指標の文言からもマップという文言から情報に変更させていただきたくお願い申し上げます。ただ、サロンの活動を紹介するにあたって、社協だよりに一覧表として掲載することができましたので、それによって内容が周知されたことと思います。平成30年度では社協だよりでサロン、お茶の間情報を再び掲載することで、1人でも多くの方がサロン活動に参加できるよう周知に努め、支援していきます。また、新たな立ち上げや、助成金の相談も随時お受けしながら、サロンの支援を行っていきたいと思っております。

小項目全体では、実施内容や年度目標数を修正することがないことから、平成30年度では、平成29年度と同じ内容で実施していきたい

	<p>と思います。</p>
<p>事務局 (立川総務課安心安全係長)</p>	<p>ごめんください。総務課安心安全係の立川と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>私のほうからは 12 ページ、小項目避難行動要支援者支援体制の充実について説明させていただきます。平成 30 年度につきましても、役員が交代しても、災害時の要支援者の支援体制が円滑に図れるように、要支援者名簿の引き継ぎや自主防災訓練などでの要支援者の確認などを行っていただけるよう、自主防災組織や自治会、町内会の方に平成 30 年度も引き続きお願いしていきたいというふうに思っております。また白根高校の生徒を対象としました防災ボランティア講座、これは毎年、今年は 1 月の終わりと 2 月にやっているわけですが、そちらのほうにつきましても学校と協議しまして、今年度も地域の方々、また防災士の方々にも参加していただいておりますけれども、次年度も地域の方々にも見学参加していただきながら、地域の助け合いの向上を図っていきたいというふうに考えております。簡単ではございますが以上となります。</p>
<p>金子委員長</p>	<p>ただいま事務局から、平成 30 年度分科会の計画について説明がございました。その小項目に基づきまして、課題解決のための具体的な取り組み内容、それぞれ出ているわけですが、今の説明の中で皆様方が聞きたいことがございましたら、どうぞ遠慮無くお聞きいただきたいと思います。何でも結構でございますが、気軽にお手を挙げていただければと思います。</p> <p>内容については、ほぼ平成 29 年度を踏襲しているような状況だということでございます。特に 30 年度において、何か新しくことが必要だというのがなにかございますでしょうか。</p> <p>ないようであれば、これでただいまの提案申し上げました内容で、平成 30 年度も取り組むということよろしいでしょうか。</p> <p>ご報告ありがとうございました。</p> <p>それでは、この計画を基にプランを進めていただけるということをお願いしたいと思います。大変ありがとうございました。以上で 2 番目の議題については終了させていただきたいと思います。</p> <p>議事(3) 地区別計画の取り組み状況についてでございます。</p> <p>このアクションプランの中に地区別計画、12 地区ある地区別の計画というものがございまして、アクションプランの中に一緒に入っております。南区の 12 の地区別計画について年度ごとの状況を推進委員会へ報告するというようになっておりまして、報告内容を各地区へ</p>

	<p>情報提供し、さらなる計画の推進につなげるということで、各地域の取り組み状況、評価についてご報告いただきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、各地区代表の委員から説明をお願いしますが、欠席の地区につきましては、説明の省略をさせていただきたいと思います。各地区の報告時間でございますが、時間の都合もございまして、おおむね3分程度で、3分以内でお願いしたいと思います。また質問については全地区終了後にお願いしたいと思います。それでは名簿の順番でお願いいたします。</p> <p>新飯田地区の金子委員からお願いしたいと思いますが、よろしくお願いいたします。</p>
金子委員	<p>資料の3の1ページでございますが、報告をいたします。</p> <p>網掛けになっている部分を平成29年度取り組みということでやってきました。2月に委員が集まりまして、実施状況等話し合いをしてまいりました。非常にここに記載のとおりでございますが、なかなか自治会によっても取り組みの濃淡等もございまして、満足いくようなものにはなっていないというのが実態でございましたけれども、引き続き次年度についても、同様の内容で取り組みということを確認してまいりました。とりわけ災害時の取り組みで、全体での参加者を思いだしているわけでございますけれども、そういう所が何かできないというもございましたし、高齢者のひとり暮らし、高齢者を対象にしたアンケートも実施をしまして、深刻な状況におられる方はないということが確認できたというのがひとつの成果だろうというふうに感じているところでございます。とりわけ高齢者世帯のゴミ出し等を、自治会でかなり取り組んでもらってきている、ということも分かりましたし、これを続けてまいりたいというふうに思っている次第でございます。細かいことについては参照いただければと思います。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。それでは続きまして茨曾根の石山委員よろしくお願いいたします。</p>
石山委員	<p>よろしくお願いいたします。私どもの方も2月に集まりまして、笑顔がつどう明るい茨曾根ということで取り組んでおりますが、一応この網掛けの中での、老人クラブの活動を充実させる、老人クラブを増やすということで、皆様方、各地域の方で頑張っておられまして、学校の方でも小学校に協力をしていただいて、畑の畝作りとか、柿だとか桃だとかどうのこうのということで、いろいろな老人会の人方から</p>

	<p>もご協力をしていただいておりますし、地域の茶の間をつくるということで、各地域ごとに年に数回の集まりがあるということを聞いております。</p> <p>それから2の子どもたちに安全な地域づくりのほうですが、下校時に合わせて大人が気を配るといのは、全体的には今まで少し目が届かなかったという点もあるのですが、今年度から学校の方からのお願いもありまして、セーフティスタッフというのが無くなったということで、見守り隊ということで今後協力していただける方を集めます。集めるといいますか、お願いをしまして、一応やっていこうかと思っております。</p> <p>それと、子どもたちの地区の取り組みを伝えるということで、顔の見える学校ということで一応文化祭ですとか、子どもたちの田植えですとか、地域で2月にさいの神をやっておりますが、そういうことも子どもたちも一生懸命みんな協力してもらえて、やるということで、また今年度学校でも田んぼと斉の神という形で、力を入れて取り組みたいという話を先ほど聞いてきまして、ちょうど今日ここに集まるということで、報告できると喜んでおりました。詳細につきましてはここに書いてあるとおりでと思いますので、時間がありましたら、目を通して見ていただければと思います。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。続きまして、庄瀬地区の牛腸委員よろしくお願ひします。</p>
牛腸委員	<p>庄瀬地区の牛腸です。よろしくお願ひします。平成29年度の地区別計画の取り組み状況につきましては、コミュニティ協議会の会長、地区社会福祉協議会長、地区の社会福祉協議会推進委員、民生委員で評価しました。各項目ごとの評価につきましては、お手持ちの資料のとおりです。</p> <p>まず地域目標1の1項目目ですが、「歩いて来られる場所に集いの場」の取り組みとして、今年度二つの茶の間が開設しました。一つ目は昨年の4月に、菱潟第一自治会に民生委員と仲間の方々が中心となって、集会所を開放して待望のお茶の間を開設しました。現在は、毎月1回のペースで開いております。二つ目は、同じく昨年の春に地域生活センターのロビーを改装しました。広くボランティアを募集し、全てボランティアの方々の手作りで、地域の茶の間、交流の場として誰もが利用できるように改装しました。3月中、この春休み中ですね、子どもたちを対象にした親子食事会を計画しております。いつでも誰でも自由に利用できます。地域の茶の間については、資料の2項目目</p>

	<p>にも関連しております。茶の間のない自治会では、定期的に集会所を利用して、病院の班会の集まりで、血圧測定、尿検査、輪投げなどをして健康づくりを行っているところもあります。庄瀬地区は地域の特徴として南北に細長く、高齢化率も高い地域ですが、老人クラブも2か所しかありません。庄瀬本村には全くありません。高齢者が集える居場所作りに、また誰もが住みやすい地域づくりに、引き続き取り組んでいきたいと思えます。2項目目、3項目目、5項目目につきましては地区の恒例行事としてほぼ定着しております。4項目目につきましては高齢者同士が安否確認も兼ねて、声を掛け合って集いの場として個人宅に集まっているところもあります。</p> <p>次に推進目標2の2項目目です。災害時の支援体制づくりの関連として、緊急時、夜間でも利用できるようなAEDを地域の数カ所の屋外に設置しました。最後に課題としまして、1つ目、老人クラブの活動に期待しますが、老人クラブという名称に抵抗感があって入会する人がほとんどいない状態です。2つ目、保護者の方からの要望がある学童保育について、これらについて今後検討してまいります。以上で庄瀬地区の報告といたします。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。それでは続きまして小林地区の佐久間委員、お願いいたします。</p>
佐久間委員	<p>小林地区の佐久間です。よろしく申し上げます。</p> <p>私たちは、声かけ合う心をつなぐ小林地区ということで頑張ってきました。内容はご覧のとおりですが、推進目標の「高齢者・障がい者・子どものつながりを感じられる交流の機会を充実させる」ということなのですが、3年間同じ評価なのですね。</p> <p>委員の男性が集まりに出てこないのも、目玉を考えるとということなのですが、昨年度も土橋先生から、男性はただお茶の間に出て来るのではなくて、目標がないとなかなか出席してもらうのが難しいというふうなことをお聞きしているのですけれども、今男性だけではなくて、クラブ全体では小林地区は運動系のものは参加がとても多いです。それ以外のものとなると男性はただの茶の間というのは、先ほど申しましたように出席が少ないのですけれども、男の料理教室というのがあって、それに参加してこられるかたがいらっしゃるということですが、これからいろいろな活動を考えていかなければいけないということなのです。</p> <p>それから障がい者の方には、やはり集まって来てもらう場所に、トイレが充実していないといけないのではないかなという反省で、3年</p>

	<p>ともBが付いております。イベントやそういうものはとても充実しております。</p> <p>2の「地区の皆が地域活動情報を知る」ですが、まずやっている人たちが一生懸命になって声かけしようということで、いろいろな声かけは充実してまいりました。それからコミュニティ協議会の方も、いろいろな人に知っていただけるということで、今まで部会長はありましたけれども、副部会長というのがなかったのです。それを付け加えました。BからAということで評価いたしました。</p> <p>3番目の「子育てを地域住民で支援しよう」ということですが、私たちのところは、去年もご報告いたしました「こぼっ子クラブ」という放課後児童クラブというものが軌道に乗っております。そのほかに小学校の出前講座や、クラブ活動はボランティアの方がたくさんいらしてます。そういうもので、小学校に関してはこれからも一生懸命やらなくてはならないですが、充実しているということでAの評価にいたしました。</p> <p>一番の課題は、私たちは上だけではなくて下にといいいますか、住民の方に周知するというのが、少し努力が足りないというのが問題点で、いかに一戸一戸の方々とコミュニケーションを取るかということに来年度から頑張っていきたいと思っております。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。続きまして臼井地区の大野委員よろしく申し上げます。</p>
大野委員	<p>臼井地区の大野です。臼井地区では「やろってば！笑顔で仲良く臼井地区」ということで取り組んでおりますが、推進表の1の「交流・仲間づくりができる集まる場がある地区」ということで「地区の既存組織を大切に育てるとともに連携する」。例年どおり、コミュニティ協議会の総務委員会、自主防災会、桜寿会で行われている茶の間。中学校の同窓会が組織化したいということで、取り組んでおります。その中で定期的な会議や、行事として小学校で昔は地域の運動会がありましたが、それがなくなっていましたので、去年運動会形式のイベントを行いました。「既存の事業を活発にする」ということで、狸の婿入りや、いろいろなイベント、敬老会などを、今までは小学校の参加は難しいということでしたが、いろいろ相談して子どもたちに参加していただいたり、中学校も保育園も参加するようになっております。</p> <p>2の「ボランティアや地区活動を理解し関心を持てる地区」ということで、今までどおり、あいさつ運動、地域の公園清掃、いろいろなものを行いました。その活動の中で今までできなかったことを、い</p>

	<p>ろいろ次年度はこういうふうにしようという目標を立てて、来年度するように行っています。</p> <p>その中で今回評価をするにあたって、地区のコミュニティ協議会の役員と民生委員に集まっていたき行いましたが、アクションプランというものが宙に浮いていて、地区の住民達に伝わっていない。努力はしているのですけれども、個々の行事は定着はしているのですけれども、その中で行っていることがアクションプラン。イコールアクションプランにならなくて、それをするにはどうしたら良いのかということが臼井地区では課題となっております。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。それでは鷺巻地区の宮崎さん、よろしくをお願いします。</p>
宮崎委員	<p>よろしくお願いいいたします。鷺巻地区の宮崎です。お手持ちの資料7ページにあるとおりなのでございますが、「各集会所を拠点とする体制づくり」これには平成29年度は、いち茶の間ができました。茶の間といっても、定期的な開催、地域の方々の定期的な開催ということで、卓球を楽しんだり、カラオケを楽しんだりということで、お茶を飲みながら交流を深めるということで、1モデルが追加になりました。そして評価をAとしました。</p> <p>2番目の「多世代交流の場をつくる」ということについては、交流の場は今までも大鷺夜まつりであるとか、桜灯籠まつり、そのほか大鷺小学校の体育館の跡地を利用して、去年は、ひまわりを植えたのですが、これは見事に咲かなくて失敗しました。土作り、要は地をやっぱり作らないと、うまくないという反省から、今年は、幼稚園児・子どもたちと、ジャガイモとサツマイモを植えてみようということで、世代間交流をしましょうということの計画があります。評価は非常によろしいということで。</p> <p>続いて「既存の事業の拡充」これはあまり進めないものですから、なかなか健康寿命を延ばす運動ということで、病院の班会を利用する。この辺が少し進まないところではあります。</p> <p>「ボランティアリーダーの育成を図る」という、非常にコミュニティ協議会も、社会福祉協議会もメンバーが一緒になりまして、なかなかそこから広がりが見えてこない。毎回毎回同じ人が集まり、同じような話をして、ということで、なかなかそこから一歩が出ない。やはり評価は低いですね。</p> <p>あとは「老人クラブの活性化」これも少し老人クラブということで、皆さん仕事が忙しい、死ぬまで働くということなものですから、なか</p>

	<p>なかそうやって若い人にバトンタッチをして、自分は悠々自適という地域ではないものですから、この辺も老人クラブの集会も少し厳しいということで、こうなっております。ただその中でも、一部集まろうじゃないかという意識を持っていただいて、集まっている地域も、やはり同じ地域になりまして、中鷲ノ木地域の方々がこうやって集まろうと。鷲の木地域はいいけど、そのほかの地域はやはり集まらない。というのが現状かと思えます。</p> <p>全体を通しての話なのですが、私も6年やらせていただきまして、こういうものをバトンタッチしていくということが、やはり大事なような気がします。毎回同じ人がやっているというと、本当に話が進まないものですから。その人達は仲良くなるのですが、それを地域へ持ち帰れるかということ、持ち帰ったときに、ではどうしよう、というところが、やはりこれから課題かなという気がします。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。根岸地区は欠席でございまして、大通地区、長谷川委員よろしくお願ひします。</p>
長谷川委員	<p>大通地区長谷川です。よろしくお願ひします。評価の方はコミ協の委員で出しました。今回の3年終わりました、上の方になっておりますけれども、今回の評価を一度、もう一度厳しくといたしますか、今までやってきた既存の立ち上げから一応評価していましたが、もう1回原点に戻って、評価をチェックし直そうという形で、評価表を見ていただくと、1の「みんなで参加・交流・理解」、2の「みんなでつくろう安心安全」というところで、同じ評価だったのは学校との協力体制。これは多分、みんな同意見でBという形になりました。あとの評価というのは、前回より下がりました。</p> <p>2番の方の「災害に対する避難体制の確立」これはDだったのですが、やることはやっているのではないかとということで一致、一段階上げてCになりました。課題としては周知は各コミュニティ協議会や関係機関うんぬん等ではしているのですが、行動に移してもらう、そのためにどうする、という第一歩になるような、やはり工夫をしていかないと発展しない。</p> <p>先ほども言いましたけれども、老人会の参加が少ない。結構周知というのではないのですけれども、なかなかそれでも実績は少ないという感じもありますので、この周知は、ある程度皆さん知ってらっしゃるといふように、右から左という感じで、止まらなくて、行動に移してもらえないというのが結構見受けるといいますか、拝見していますので、今回はこの工夫、これが一番の課題かなというふうな形でし</p>

	<p>た。</p> <p>あとは、要するに相当真面目に工夫するのですが、周知して受け取るほうの側の納得、これも同じことなのですが、できればうちということも併せて、何かもう一つ工夫をしないと、ただやりました、受け取りました、はいさようならという形になりやすいので、そういったところを平成 30 年度は少し工夫していきたいなというふうに思います。</p> <p>もう一つ、各事業がコミュニティ協議会とバッティングというのを結構しています。このアクションプランに関しまして。先ほど少し声も出ましたけれども、要するに同じ事業が合わさされるといったこともありますけれども、そういったふうに重複するのがかなり見受けられて、どういうふうに評価していったらいいかという形も、今後多分整備していかないとなかなか評価の制度というか形が難しいのかなと感じています。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。それでは、白根地区は欠席でございますので、味方地区、山宮委員にお願いいたします。</p>
山宮委員	<p>味方地区社会福祉協議会、山宮でございます。先日役員会がございまして、一年間の総括を行いました。社会福祉協議会の構想としては、従来のいろいろな取り組みを継続させることが一番大事だろうという観点から、地域で不幸な人がおられれば手を差し伸べる、また安心安全活動をする、みんなでやろうという部分で、従来から来ている部分ですから、それをきちんとやって行こうじゃないかというのが実感で。</p> <p>やって、結果としてはこの表のように関係者の共有、これはいろいろな場で話を出してもらおうというのを、役員の中の引き継ぎとか、住民にも知ってもらうためには情報紙を発行しようということもやってまいりまして、なんとかやりきれたのではないかとこのところ。これは社会福祉協議会の方々の働きかけや、学校と、特に小学校の協力、中学校は防災関係は協力していただいています。それで関係機関が協力してこの部分も社会福祉協議会の関係はコミュニティ協議会の部会にもなっていますので、なんとか連動させながらやっていけたらいいなと思っております。</p> <p>ただ残念なのはボランティア関係。この部分が一番難儀をしている部分でございまして、名乗りをあげる人がいるかいらないか、実際はいないのですね。忙しいのですわ皆さん。千日団地だけは、農家でない住宅団地でしたので、千日団地の自治会は独自の取り組みとして、見回りをやろうじゃないかと相談しておりますけれども、その他はいわ</p>

	<p>ゆる農村百姓屋という部分が大半ですので、ここの方々には年を取っても忙しい、ボランティアとても無理だ。何かあったときはやらなければならないだろうけれども、日常的な活動はできない。というのが大半でございまして、その部分をどうやってやっていくか。</p> <p>老人会についても名前はたくさん出ているけれども、実際に活動しているのは、ほんの一部だというのが、おそらくどこも同じような実態になるのかなと思うのですが。そういったところも従来の活動をとにかく継続できるような、ともするとみんなへたばってしまいますので、そこを何とか手を入れていけば良いのではないかというようなことで、一年間のまとめをさせてもらいました。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。最後でございまして、月潟地区でございまして、私の方から説明させていただきたいと思っております。</p> <p>12 ページ一番後ろになります。大きな項目が4つございまして、一番上の「子どもを含めて世代間交流の活動をしよう」ということで、セーフティスタッフの充実でございまして、これについては、スタッフがなかなか裾野が広がっていかないということで、スタッフの数も大体现状維持ということでございまして。</p> <p>それから「地域の茶の間に子どもを招いて一緒に活動をする」ということでございまして、これも子どもの数が非常に少ないということで、なかなか子どもを呼んでということも非常に難しくなっているというのが実態のようございまして。</p> <p>「ふれあいスクールを継続する」これもスタッフが固定化しております、なかなかセーフティスタッフと同様スタッフの数が増えていかないということでございまして。広報等を活用しながら募集をしてみたいと考えております。</p> <p>「地域の茶の間を各集落に作ろう」これは今あるお茶の間以外にも各集落につくるということでございまして、逆に去年5つあったのが4つになりまして、というのも高齢化というのでしょうか、世話を焼く人というのでしょうか、そういう方がなかなか高齢化になりまして、事務手続きが面倒臭いと。助成金をもらうのも大変だというような話になったわけですね。もらわなくて良いから、集まっているのは集まっているのですよね。集まっているのだけれども、助成金もらうと面倒だし、今までどおり集まるのは集まろうということで、今までどおりはやっているという状況でございまして。</p> <p>そんな中で冒頭のあいさつにもありましたように、大別当の茶の間でございまして、この新潟市に評価されて、新潟市健康寿命延伸アワ</p>

	<p>ード準グランプリを受賞ということで、スタッフ一生懸命やっています。本当にありがたく思っているところでございます。</p> <p>「今あるお茶の間について継続充実していく」ということでございます。これについても集落が地区が8つあるのですけれども、まだ無いところも半分ございますので、また取り組んでいけるように、スタッフの充実を図っていきたいというふうに思っております。</p> <p>3番目「地区の運動会を盛り上げよう」ということで、これはもう昭和の時代からずっとやっております。昭和40年代くらいから毎年運動会、全地区参加でやっております。</p> <p>4番目の「ボランティア・地区のリーダーを育成しよう」ということでございます。今、中学生がなかなか一生懸命ボランティアをやってくれておりまして、地域内の空き缶拾いですとか、草取りですね、そういうものを。お陰で中学生はライオンズ倶楽部から表彰をもらったというような状況でございまして、地域の祭りにも参加してくれているというようなことでございます。</p> <p>先ほども少し話が出たのですけれども、この目標そのものがやっている方には浸透しているのでしょうかけれども、アクションプランが全地域の方に対して浸透しているのかというと、非常に疑問があるという状況でございます。そんなことで評価も前年と同様の評価でございました。</p> <p>それでは各地区の皆さんから報告があったのですけれども、この活動等について何か聞いてみたいこととかございますでしょうか。遠慮無くお手を上げていただきたいと思います。いかがでしょう。</p> <p>無いようでございますので、次に進んでよろしいですか。</p> <p>議事の(4)分科会の見直しについてということで、事務局から説明があります。事務局にお願いします。</p>
<p>事務局 (星野地域福祉係長)</p>	<p>南区健康福祉課地域福祉係の星野です。</p> <p>それでは、分科会の見直しについて説明させていただきます。お手元の資料4をご覧ください。</p> <p>本市では、限られた経営資源の中でも、市民の信頼に応えながら必要な施策を推進するため、全ての事務事業の見直しにより、事務の効率化・適正会に取り組むこととしています。そのため、この度はアクションプラン推進委員会の分科会のあり方について見直しをしたいと考えています。</p> <p>現在、当推進委員会において、福祉分野別の分科会を開催し、計画の進行管理状況の把握及び評価を行い推進委員会に報告するととも</p>

	<p>に、必要に応じて計画の推進主体に対し提言を行っていますが、分科会と推進委員会では、ほぼ同じ内容で重複した行程になっていることや、各分科会で意見集約し、推進委員会に報告する形式であるため、推進委員会における提言や意見が乏しくなる傾向があります。また、ほかの区においては年2回の検討会で進行管理、評価を行う方式であり、分科会の開催は行っていません。ほかの区と共通に行っている事務事業について、平準化や適正化の検討を行ったうえで効果化・効率的な行財政運営を行う必要があります。見直しの方針としては、基本年2回の推進委員会の場で進行管理や評価を行い、大きな変更がある場合など必要に応じて分科会を開催することにしたいと思っています。なお、進行管理表などは、事前配布し、意見等があれば委員会前に意見集約を行いたいと思います。以上御理解の程、何とぞお願いしたいと思います。</p>
金子委員長	<p>それでは、今、事務局の方から分科会の見直しについてという説明がございました。これについては私ども委員会の前に分科会を開いた中で、いろいろ協議といいますか、話をしておいております。そしてこの推進会議に向かうわけでございますけれども、その分科会、基本的に分科会を事前に開くことなく、年に2回の委員会のみを行うという提案でございます。これについて皆様方がございましょうか。何かご意見があれば遠慮無くお話ししたいと思います。</p>
山宮委員	<p>味方地区社会福祉協議会山宮でございます。分科会を必要に応じてというところが、非常にありがたいなと思って、私は大賛成でございます。どうしてもこういう会議が重なるんですね。時期的にも集中しますので、できるだけこういった組織的な部分はスリムにしていって、同じ内容を各会議で図るようなことがないように、1回で済むような形にさせていただくのは、非常にこれは良いことではないかなと思いますので、私は大賛成でございます。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございます。 ほかいかがでございましょう。ご異議ございませんでしょうか。 それでは今お話のようにスリム化ということ。そして、大きな変更がある場合には、今までどおり分科会があるということでございます。この分科会の開催につきましては、事務局側のほうから呼びかける場合と、委員のほうから、ぜひこれを取り上げて欲しいという委員さん側の要求というものもあろうかと思えます。それらについて開催できるような形で事務局も取り組んでいただければということでございます。</p>

	<p>そういうことで決定させていただきますが、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、続きまして土橋先生のほうから、これまでの話の内容等についてアドバイスいただければ幸いです。よろしく願いいたします。</p>
土橋アドバイザー	<p>お世話になっております。土橋です。今日はいろいろお話をお聞かせいただいて、内容が評価になったのかなというふうに思っております。今日は「にいがた安心ささえ愛活動」の報告がまずありまして、その中でまちづくり学校の取り組みの中で、皆さんそういう活動を行われているということ、すでに2年間やられているわけですから、非常にご承知なのだろうと思っておりますけれども。いろいろな活動があちこちでやられているのだけれども、それが、皆さん方、自分の地域の中でどういうふうにつながっていくのかというところが、うまくつなげられるところと、そうではなくて、あれはあの団体がやっている活動だから、任せておけば良いんだということで終わってしまうかによって、だいぶ違った反応になってしまうのだらうと思うのですよね。</p> <p>私も若いとき、地域の中で生活学校というような感じのものをやりたいなど。それは地域や子ども会を通して、子どもたちに自分の住んでいる地域の歴史というものを、もう少しきちんと知らせていきたいということと同時に、その地域の中で生業をしてらっしゃる皆さん方を、例えば魚屋さんとか、何屋さんとか、いろいろあるわけですが、そういう方々のどういう工夫をしながら、地域の中で皆さんの生活を支えて来ているのかということを知ることによって、地域の人、それから歴史、それから成り立ち等、知る機会をつくることができるということで、そういう試みをしたことがあるのですけれども。やはり自分達の地域の良さとか何かは、どういう形で探していくのかというのは、いろいろな方法があると思うのですが、子どもたちに知っていただく、自主的に動いていただけるような配慮をしていく、というのは非常に大事ではないかと思えますし、皆さん方の地域でもいろいろな行事の中に、今日お聞きしていると子供会や子どもたち、学校、小学校・中学校の参加を意識されているようですから、そういうことをぜひ考えながら進めていただけるといいと思います。</p> <p>最近、中学生が自分の地域の紹介をして、外から来た人たちにいろいろと地区の紹介をしたりしている活動がテレビなどで見られます。やはり中学生くらいになると、かなりの能力を持ってらっしゃるわけですから、そういう感性を生かすという働きかけがとてもいいのでは</p>

ないかと。

昔の話になりますけれども、三条で水害があったときに、ボランティアがずいぶん集まってきて援助をしてくれましたけれども、一番喜ばれたのは地元の中学生が自分達のボランティア活動に参加してきて、市民を勇気づけたというのが、私も新聞やテレビを見ながら、若い人たちが、それも自分の地元の人たちが参加をしてくれることで、本当にとっても元気になるのだなというのがよく分かりましたし、皆さま方もうまく一緒に活動されていくという方法を考えればいいのではないかと。

ただ、小・中・高とも先生方は忙しいので、やはりやることになる、よほど学校と調整をしていかないと、なかなかうまくいかないというのを感じますし、地域の中で先生方をお呼びして、何かいろいろ事業をやろうとすると、まず教育委員会でダメ出しが出てしまうということに。だから逆に言うと地域と学校が話し合いをして、地域の中で、地域の人たちが、どういう形で先生方を補佐しながら一緒に活動していくのか、ということを考えていくことも大事では無いかと思います。地区の報告を聞かせていただいて思ったのですが、評価は厳しくやってみたとか、それから前へ進んでいないようだ、という話はされておりましたけれども、全体的に見ると改善をされているという感じがしますし、大いに皆さんもそう思っているのではないかと。ただ、皆さんが思っていることの中に、評価をした人たちが固定化されてしまっていて、一般の住民の人たちがどういうふうを考えているのか、というのが見えないという部分があって、自信を持ってA評価だよ、B評価だよといえない部分があるのではないかと思います。

ですから住民とどういうふうな形で接触をして、その人達の声はどうやって委員会やその地区の活動に反映をさせていくのかというひと工夫を入れることができれば良いのではないかと思います。人数が減ってきていてなかなか集まりができないという話がありました。

小学生が減ってきたとか、老人クラブの活動に参加する人たちがいないとか、地域の茶の間に男性が参加しないとか、いろいろあるわけですが、やはり従来の価値観のままでことを進めようとしても、なかなかうまくいなくなっているという現実もあると思うのですよね。そうしたときにどういう考え方で物事を進めていこうか。例えば地域の茶の間もお金をもらって、助成金をもらって開いているものを正式な茶の間とするのか、集まっている場所があって、そこはい

ろいろな人たちが集まっているのだけれど、助成金はもらっていない。では、そこはどうするか。どういう評価をするのかということを含めて、もう少し柔軟性を高めて、地域の中であそこに皆さん集まっているのであれば、そこはそこで任せておこうというような形にして、もっとなかなかできにくいところに力を注ぐとか、方法論も考えられるのではないかなというふうに思います。

それから今回、マップづくりというのが抜けているのですけれども、これは手元にいいマップができて配られていらっしゃるようなので、こういう見える化を図るということは非常に大事だろうと思いますし、これは障がいを持つ人たちだけに配ってそれでよしではなくて、むしろ一般の人たちが、自分達が障がいを持つ人と連れだってどこかへ出かけたときに、どこに何があるのかということを理解をして、積極的に交流が図れるというふうに考えていただけると、とても役に立つ地図ができていると捉えることができるのだろーうと思いますので、いい成果があがっているのではないかなと思っています。

それから皆さん方のほうでいろいろとお話いただいた中に、自治会の中での濃淡とか、子どもと高齢者の関わりの問題とか、老人クラブのあり方、それから住民への周知の不足、アクションプランと自分達の活動との関係、コミュニティ協議会と社会福祉協議会との関係とか、人材の問題というようなことで、バッティングというのがありましたし、子どもの数が減っているとか、そういうようなことも含めてお話がありました。

やはり地域の中で、皆さん方がご努力されていろいろやっていることを、住民にどう周知し、参加を得られるように仕向けていくのかというのは、こういう場所で情報交換することによって、うちでもこういうことをやってみようとか、あそこでは、こういうことをやっているんだな、というようなことを理解することでもつながると思うのですね。今は非常に人が集まって、そして地域を豊かにしていこうというような掛け声がものすごく出ているのですが、実際にはなかなか難しいことですよ。人が定着しないと、それから集まりにくい環境がある。

そういうときに、地域での実践というのは、全国的に見ればいろいろな地域でいろいろな活動が行われていますし、成功事例もたくさんあるわけです。そういう事例を皆さんで集めてきて交流のときに使う、というのも非常に大事だと思いますし、今の時勢はいろいろなことができるような時代になってきました。今まで行政がこういうことを

	<p>するといって、やって、それはうまくいくかいかないかということだけが問題になっていたのですけれども、現在はNPO法人などが中心になって、どんどん展開をするようになってきました。ですから社会福祉協議会の存在すらも、NPOの存在がおびやかすような形のところもでてきているわけですね。</p> <p>そういう中で、皆さま方の中にある地域でのいろいろな活動主体が、どういうふうにあって、張り巡らされているのか、また、どういう成果を上げているのか、ぜひ共有をしていただきたいですし、地域の方々を知っていただきたいというふうに思います。</p> <p>すでに3年を経過したわけですから、改めてアクションプランをもう一度見直していただいて、そして皆さま方がこれからの3年間をもっと成果を上げていくように取り組んでいただければ、大変ありがたいなというふうに思います。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。先生からいろいろご提言いただきました。何か、この際でございますので、先生にお聞きしたいことがあれば、遠慮無くお聞きいただきたいと思いますが、いかがでございましょう。よろしゅうございますでしょうか。どうも先生ありがとうございました。</p> <p>以上で予定されました議事がすべて終了いたしました。</p> <p>私事でございますが、先ほども述べましたが、3年間大変ありがとうございました。お陰でスムーズな運営ができたと思っております。感謝いたします。それでは進行を事務局に戻します。</p>
事務局 (星野地域福祉係長)	<p>金子委員長、進行ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局から連絡事項が3つございます。</p> <p>まず1点目、次年度の推進委員についてです。当委員会の委員任期は原則3年としており、再任の場合は6年まで可能となります。すでに選出母体がある委員枠については、地区から推薦状をいただいているところがございます。併せて一般市民からの公募委員も募集させていただきます。ご推薦をいただいております委員宛には、新年度に通知を発送したいと思っております。また、次回の推進委員会は、再任の方・新任の方という形になっておりますので、その点についてあらかじめ連絡をさせていただきたいと思っております。</p> <p>2つ目の連絡です。今年度、区で発行した冊子について2点ほど紹介させていただきます。最初に「南区おでかけ福祉マップ」についてです。このマップは区づくり事業の一環で作成したもので、障がいのある方をはじめ、誰もが意欲的に外出できるよう、福祉施設や公園な</p>

	<p>ど出かける際にトイレなど、施設の福祉概要がどうなっているか、マークで表記をしてあります。マップは小学校区ごとに区分しております。児童・障がい・高齢者福祉施設・公園、そのほかに災害が発生したときに身を寄せる避難所の施設がどうなっているのかマークで分かりやすく表記してあります。作成にあたり、作成検討委員会を立ち上げ、委員の皆様からご意見やアイデアをいただきながら作成したものでございますので、ご紹介をさせていただきました。</p>
<p>事務局 (相田健康増進係長)</p>	<p>健康増進係の相田といいます。よろしくお願ひします。</p> <p>次にご紹介させていただきますのが「南区在宅療養安心ガイドブック」のご紹介をさせていただきたいと思ひます。こちらのガイドブックは、在宅医療について啓発普及をはかるために2年前に作成した冊子を、この度改訂したものです。本日おいでの小林地区の佐久間委員からも、民生委員というお立場でこちらのワーキングに入って検討を一緒にさせていただきました。</p> <p>前回からの改訂ポイントになりますが、3ページをお願いします。改正のポイントは、主に前は高齢者向けとなっていた内容を、在宅療養は病気や障がい・年齢を問わず在宅療養を希望するすべての人を対象とすることを明記しております。2点目になりますが、歯科医が訪問して訪問歯科診療を行うものについて、どんなときに利用すると良いのかがなかなかわかりにくいという声があることから、3ページ目のこの部分に「自宅で歯の治療はできるの」というところで、本当に痛くて困っただけではないときに活用するといひのですよ、というところで追加しております。また、南区の在宅医療や、療養をとりまく体制も2年前から広がっておりまして、5ページからの在宅医療介護対応機関リストを更新しております。3点目は、先ほどの訪問歯科診療と表紙の挿絵にまんがを使用しております。在宅医療やこういった療養に多くの方に関心を持ってもらおうというねらいがあります。せっかくの場ですので、この場でご紹介させていただきました。</p> <p>もう一つ追加で、先ほどお配りさせてもらった資料からA4、1枚の資料の説明を簡単にさせていただきたいと思ひます。こちらは健康寿命延伸アワード受賞団体の一覧になります。中村健康福祉課長のあいさつの中でもお話がありましたように、この一般部門のところで、準グランプリということで、大別当の茶の間が表彰されております。この健康寿命延伸アワードというのは今年度から取り組みとして始まったものです。健康寿命延伸のために、地域での活動を活性化、また多く紹介していこうということで始まっておりまして、コミュニティ</p>

	<p>協議会部門には、南区は5つの団体から応募がありました。一般部門は南区からは1団体、大別当の茶の間様から応募がありまして、今回準グランプリを受賞しております。</p> <p>簡単ですが私のほうから紹介させてもらいたいと思います。こちら大別当の茶の間の準グランプリを受賞した理由は、地域の健康課題を意識しながら、運動、講話などを行い、その地域の活動を健康寿命一口メモとして掲載し、お茶の間だよりを全戸回覧しております。このように健康状況を広く伝える活動が評価されたということで、私のほうから紹介させていただきます。</p>
<p>事務局 (石倉健康福祉課課長補佐)</p>	<p>皆さん大変長い間ありがとうございました。これで今日予定しておりました議題事項等はすべて終了いたしました。これで今日の会議を閉じさせていただきたいと思います。</p> <p>大変ありがとうございました。お気を付けてお帰りください。ありがとうございました。</p>